

高所作業台


『のぼる君VEGA』

ASK-36 ・ ASK-46

取扱説明書

ご使用前に、必ずお読みください。



 株式会社 **シッス**

目 次

はじめに	・・・ P1
1. 機械の仕様	・・・ P3
2. 使用方法	・・・ P5
3. 非常時の降下について	・・・ P7
4. 充電器の仕様	・・・ P9
5. 持ち上げ(吊り上げ)方法	・・・ P10
6. 作業台の設置にあたって	・・・ P12
7. 使用上の注意	・・・ P12
8. 試運転	・・・ P12
9. 操作電気配線図	・・・ P13
10. 電気回路図	・・・ P14
11. 油圧配管図・油圧回路図	・・・ P15
12. 保守・点検	・・・ P17
13. トラブルシューティング	・・・ P18
14. オプション品	・・・ P20
15. 充電器の交換方法	・・・ P21
16. 各部の名称及びグリスアップ点検	・・・ P22
17. 高所作業台始業前点検記録表(使用時は毎日)	・・・ P24
18. 参考資料(バッテリー)	・・・ P25


この取扱説明書を熟読され、弊社の高所作業台を正しく100%活用して頂き、貴社の明日からの尚一層のご発展につながるように心より期待しております。なお、本機は改良のため予告なしに変更することがあります。この取扱説明書と本機の間には若干の相違が生ずることがありますのでご了承ください。


はじめに


このたびは、弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本機をご利用いただくにあたり、ご使用前に本取扱説明書を熟読され、常に正しい取り扱いと特長を生かした使い方をいただければ、作業効率の向上にお役立てできるものと確信しております。

なお、本書に反するご使用は故障を起こす原因となり、危険を伴いますので、本書は大切に保管され、わからないときは再読してください。


【危険・警告・注意の定義】


 **危険** 記載されている事項を守らないと、死亡や重傷を負う危険があり、かつ火災などの重大な危険が発生する度合いが高いことが想定される内容を示します。


 **警告** 記載されている事項を守らないと、死亡や重傷を負う危険が想定される内容を示します。

 **注意** 記載されている事項を守らないと、傷害を負うかまたは物的損害が発生する危険が想定される内容を示します。


図記号の例


 △記号は注意(警告・危険を含む)を示します。具体的な注意内容は、△の近くに文章や絵で示します。
左図の場合は“特定しない一般的な注意、警告、危険”を示します。

 ○記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な強制内容は○の近くに文章や絵で示します。

 ●記号は強制(必ず守ること)を示します。具体的な強制内容は、●の近くに文章や絵で示します。
左図の場合は“特定しない一般的な使用者の行為”を示します。

注意

※ 操作担当者は、この説明書を読み、十分に内容を理解した上で、ご使用を始めてください。 

※ 本書は、必ず操作担当者がいつでも見られる場所に保管してください。 

※ 取り扱いについて不審な点や、物品交換における点検や調整要領については、弊社または、本機をお求めになった販売店までご連絡ください。

その際、必ず製造番号・型式・製造年月もあわせてご連絡くださいますようお願い致します。

※ 安全な使用についての教育を行ってください。

※ 目的外の用途には使用しないでください。

※ みだりに分解・組立を行わないでください。

※ 作業中、作業関係者以外の者が立ち入る危害を防止するため、標識等により立ち入り禁止区域を明示する

※ 作業に必要な照度を確保すること

※ 複数の高所作業台を併置し、その上に足場板等を掛渡して使用しない

※ 架空電路に近接して定置し作業するときは、絶縁防具等を装着する

●移動式昇降足場『のぼる君VEGA ASK-36 ASK-46』は特別講習が不要です。

[理由]

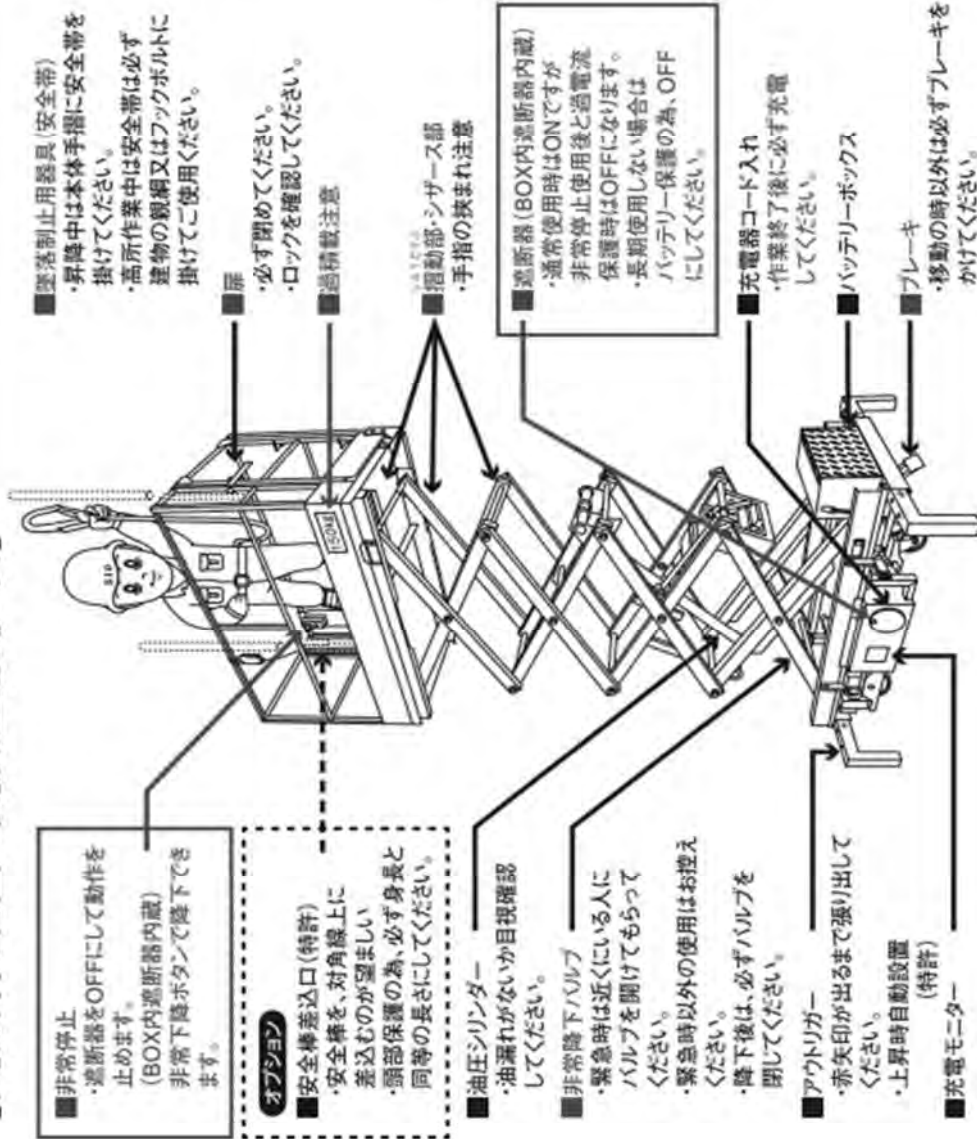
高所作業車の定義

「高所作業車」とは、高所における工事、点検、補修等の作業に使用される機械であって作業床(各種の作業を行うために設けられた人が乗ることを予定した床をいう。)及び昇降装置により構成され、当該作業床が昇降装置その他装置により上昇、下降等をする設備を有する機械のうち、動力を用い、かつ、不特定の場所に自走することができるものをいうものであること。

なお、消防機関が消防活動に使用するはしご自動車、屈折はしご自動車等の消防車は高所作業車に含まれないものであること。(平成2年9月26日 基発第583号)

※(この項が該当しないため特別講習が不要です。)

【高所作業台 取扱注意事項】



■非常停止
 ・遮断器をOFFにして動作を止めます。
 (BOX内遮断器内蔵)
 ・非常下降ボタンで降下できません。

■オフショーン
 ・安全棒差込口(特許)
 ・安全棒を、対角線上に差込むのが望ましい
 ・頭部保護の為、必ず身長と同等の長さにしてください。

■油圧シリンダー
 ・油漏れがないか目視確認してください。

■非常降下バルブ
 ・緊急時は近くにいる人にバルブを開けてもらってください。
 ・緊急時以外の使用はお控えください。
 ・降下後は、必ずバルブを閉じてください。

■アウトリガー
 ・赤矢印が出るまで張り出してください。
 ・上昇時自動設置(特許)
 ■充電モーター

■墜落制止用具(安全带)
 ・昇降中は本体手摺に安全带を掛けてください。
 ・高所作業中は安全带は必ず建物の観網又はフックボルトに掛けてご使用ください。

■扉
 ・必ず閉めてください。
 ・ロックを確認してください。

■過積載注意
 ・摺動部・シヤーズ部
 ・手指の挟まれ注意

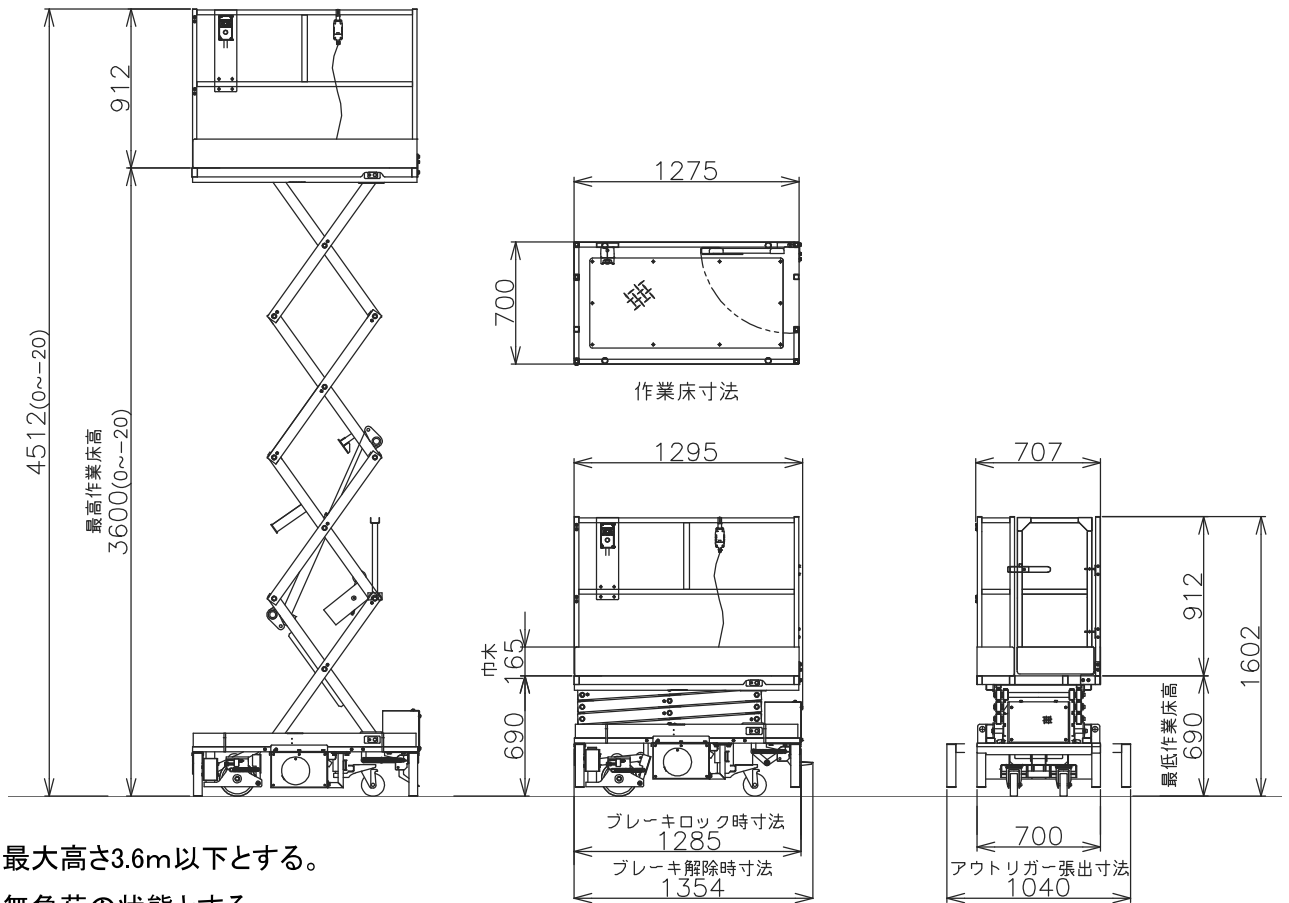
■遮断器 (BOX内遮断器内蔵)
 ・通常使用時はONですが、非常停止使用後と過電流保護時はOFFになります。
 ・長期使用しない場合はバッテリー保護の為、OFFにしてください。

■充電器コード入れ
 ・作業終了後に必ず充電してください。

■バッテリーボックス
 ■ブレーキ
 ・移動の時以外は必ずブレーキを掛けてください。

- ※作業中は保護帽を着用してください。
- ※傾斜地及び地盤が軟弱な場所では使用しないでください。
- ※始業前点検を確実に行ってください。
 (オイル漏れ・操作ボタン・充電状態確認・充電器コードの収納)
- ※荷又は工具は、偏荷重、集中荷重とならないように、作業床手摺からはみ出さないでください。
- ※必ず人がいないか周囲を確認してから操作してください。
- ※ペンダントスイッチの断続のON・OFFは故障の原因になります。
- ※ペンダントスイッチを引っ張らないでください。
- ※バッテリーは自然放電しますので、未使用・保管時も約2週間に1度は必ず充電及びバッテリーチェンジを行ってください。
- ※充電中は、昇降できません。
- ※長期使用しない場合はバッテリー保護の為、遮断器をOFFにしてください。
- ※遮断器の連続ON、OFFは故障の原因となります。
- ※「キャスターガイド部のグリスアップを行うときは、取扱説明書を参照してください。
- ※取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

《機械の仕様 ASK-36》



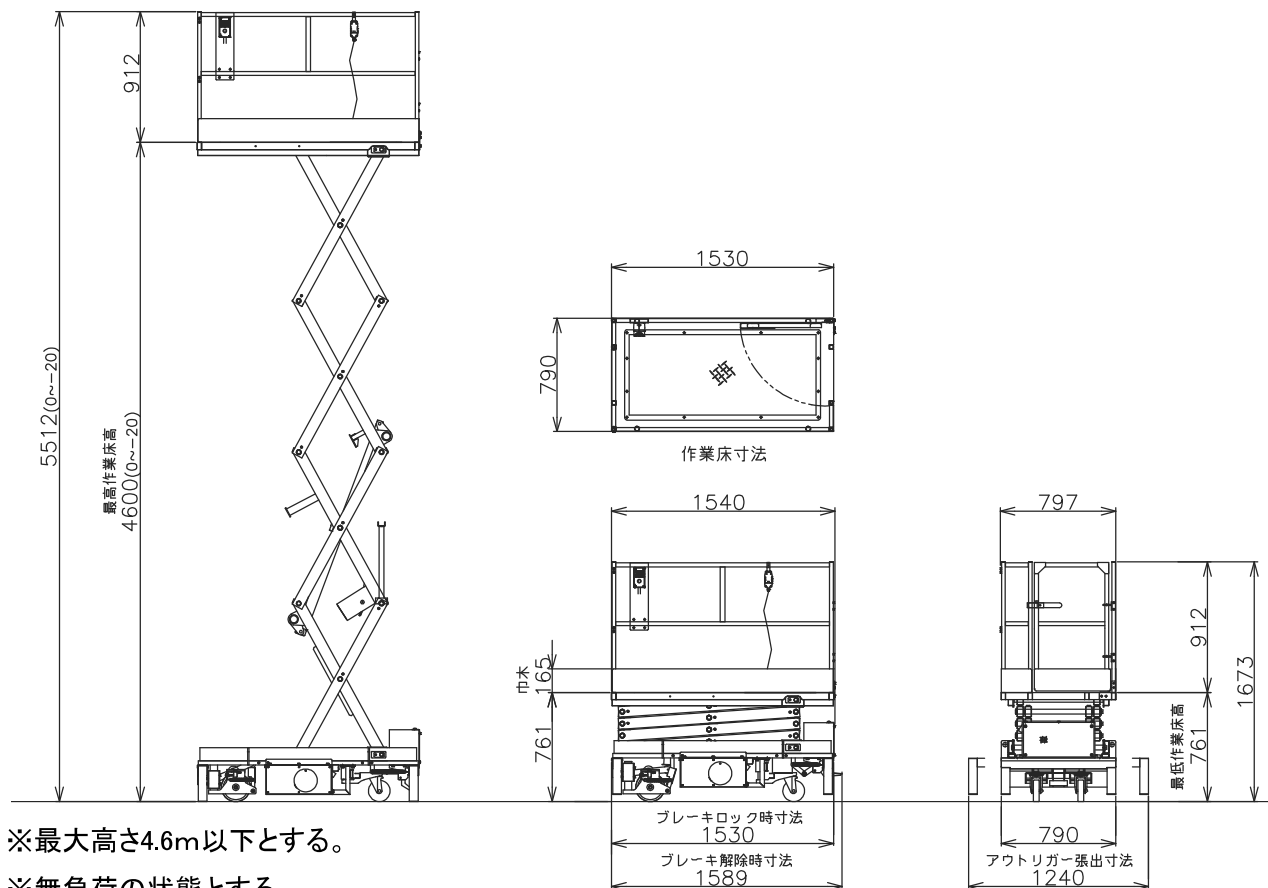
※最大高さ3.6m以下とする。

※無負荷の状態とする。

型式	ASK-36
最高作業台高	約3,600mm (0~-20mm)
最低作業床高	約690mm
作業床寸法	約1,275mm × 約700mm
作業台寸法(長さ×幅×高さ) ※()はブレーキ解除時	格納時 約1,295(1354)mm × 約700(707)mm × 約1,602mm 最高時 約1,295(1354)mm × 約700(707)mm × 約4,512mm (0~-20mm)
アウトリガー張り出し	約1,040mm
最大積載荷重	150kg
自重	345kg以下 (※フルオプション時365kg以下)
電源	バッテリー 12V 38Ah (ボックス内固定とする)
充電器	AC85V~260V 消費電力 0.15KW
昇降回数(満充電)	約50回
充電時間	約6時間
操作方法	ペンダントスイッチ(2PB)
昇降装置	油圧パッケージDC12V 800W
安全装置	油圧回路リリーフ設定
	シリンダーの油圧ホース取出し部逆止弁
	非常降下バルブ(油圧抜き)
	昇降時ブザー警報
	アウトリガー上昇時自動設置(特許)
	非常停止装置
	過電流遮断器
表面仕上げ	本体 溶融亜鉛メッキ(一部、ユニクロメッキ)
	購入品についてはメーカー仕様

※自重はオプション質量を含んでおりません。オプション質量は【14.オプション品】をご参照ください。

《機械の仕様 ASK-46》



型式	ASK-46
最高作業台高	約4,600mm (0~20mm)
最低作業床高	約761mm
作業床寸法	約1,530mm × 約790mm
作業台寸法(長さ×幅×高さ) ※()はブレーキ解除時	格納時 約1,540(1589)mm × 約790(797)mm × 約1,602mm 最高時 約1,540(1589)mm × 約790(797)mm × 約5512mm (0~20mm)
アウトリガー張り出し	約1,240mm
最大積載荷重	150kg
自重	475kg以下 (※フルオプション時495kg以下)
電源	バッテリー 12V 65Ah (ボックス内固定とする)
充電器	AC85V~260V 消費電力 0.15KW
昇降回数(満充電)	約50回
充電時間	約10時間
操作方法	ペンダントスイッチ(2PB)
昇降装置	油圧パッケージDC12V 800W
安全装置	油圧回路リリーフ設定
	シリンダーの油圧ホース取出し部逆止弁
	非常降下バルブ(油圧抜き)
	昇降時ブザー警報
	アウトリガー上昇時自動設置(特許)
	非常停止装置
表面仕上げ	過電流遮断器
	本体 溶融亜鉛メッキ(一部、ユニクロメッキ) 購入品についてはメーカー仕様

※自重はオプション質量を含んでおりません。オプション質量は【14.オプション品】をご参照ください。

2. 使用方法『指差呼称でお願いします』



①使用前に作業台の損傷が無いか確認し、最低の高さにして移動する。また作業者を乗せたまま移動しない。設置場所の状況(移動前の床面の凹凸、障害物等)確認する。

- ・作業場所に近く無理の無い位置に設置する。
- ・安定した場所に水平に設置する。
- ・作業台下には物が無いか確認する。
- ・周囲は整理整頓されているか確認する。



②ブレーキをロックする。

- ・必ずロック状態を確認してください。
- ・移動時以外は必ずブレーキを押し下げてONにしてください。足が接触しケガの可能性があります。
- ・必ず動かないことを確認してください



④作業台に乗り込む。

- ・扉を開き必ず作業台に向って足元を確認し乗り込んでください。
- ※保護帽および墜落制止用器具は必ず装着し使用してください。



③アウトリガーをセットする。

- ・全てのアウトリガー(4箇所)を必ず矢印の位置まで張り出しフックをセットしてください。



⑤扉を閉める。

- ・扉を閉め、必ずロックを確認してください。



⑥上昇前に周囲の確認をする。

- ・周囲に障害物等が無いか確認してください。



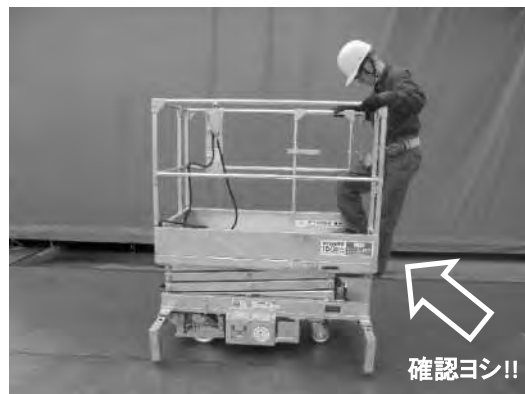
- ⑨上下スイッチを操作し下降する。
 ・下降の際は周囲に障害物が無いか確認する。
 ・スイッチボタンの位置を確認し操作する。



- ⑧作業高さまで上昇した後、墜落制止用器具を必ず建物側に掛け直して使用してください。



- ⑦上下スイッチを操作し上昇する。
 ・スイッチボタンの位置を確認し操作する。
 ※上昇時は墜落制止用器具を手摺に掛けて使用してください。
 ※上昇スイッチを押してからフザー警報音が鳴り約1秒後に上昇開始します。



- ⑩作業台から降りる。
 ・完全に作業台が降りたことを確認し扉を開き必ず作業台に向って足元を確認し降りてください。



してはいけない



作業台より身を乗り出しておの作業はしないでください。



作業台に踏台等を載せて使用しないでください。



手摺に乗らないでください。



必ず作業台の扉に向って昇降を行ってください。

3. 非常時の下降について（非常降下バルブの使用）

❗ 下記事項以外は使用しない



※作業台の人が操作不可能の場合

※電気系のトラブルが発生した場合

※点検時のチェック

作業床が下降不能となった場合に備え、作業床を下降させる事を目的としています。

操作手順

<p>(1)ふたを開ける。</p> <p>※レバーを手前に引っ張りながら回転させてください</p>	 <p>レバー</p>
<p>(2)バルブを回す。 (左へ回すとゆっくり下降してきます。)</p> <p>❗ 下降後は必ず閉じてください。 (右へ回す。)</p>	

「のぼる君VEGA ASK-36 ASK-46」の安全装置機能について

<上部非常停止BOX>



・非常停止スイッチ

非常時に押すことで電気ボックス内の遮断器がOFFになり、バッテリーからモータ、操作回路への電源をすべて遮断します。操作ペンダントスイッチでの操作ができなくなるため、再び操作を行う際は、遮断器をONにします。非常停止を押した後降下する際は下記の非常時下降スイッチか、降下バルブを使用してください。非常時のときのみ、使用してください。

非常停止スイッチは、1度押したら矢印の方向に回して解除する必要があります。

・非常時下降スイッチ

ペンダントスイッチでの操作が出来ない非常時にこのスイッチを押して降下を行ってください。

<電気ボックス内遮断器>



充電コンセント収納ボックス内の上部にあります。上に上げてON状態にすることで昇降操作が行えます。非常停止を動作させるか過電流保護が働いて遮断器がOFFにした後、再び操作をする際は遮断器を上押ししてONにしてください。

遮断器をONにする際には、非常停止スイッチが解除されていることと過電流の原因が取り除かれていることを確認してください。解除されていない場合ONにすることができません。

*非常停止を押して遮断器をOFFにした際は30秒ほど時間を空けてから、遮断器をONにしてください。連続で遮断機能が働きますと、故障の原因となります。

<電気ボックスダブルコンタクタ>

接点



接点



ダブルコンタクタ

モータの起動用リレーを二個、直列に繋いでいます。どちらか片方に異常が発生した場合でも、正常に稼動することが可能です。

※定期点検の際、それぞれのコンタクタの接点(左写真部)をテスターにて導通確認を行ってください。

動作していない状態で接点間の導通が見られる場合は接点が溶着している可能性があります。コンタクタの交換を行ってください。

4. 充電器の仕様

メーカー : D-FIRING

品番 : DZC-P1208N(コネクタ付き)

方式	単相全波整流 自然冷却 連続定格
初期電流制御	満充電自動停止
入力	単相85V~260V 50/60Hz 0.15kw
出力	DC12V 8A
表示	モニターランプ付き
ACコード	VCT1.25sq 充電器コード
DCコード	ビニールコード1.25sq 赤 黒



※電圧計の目盛りは上段部の色を参照してください。

⚠ 危険


過充電防止の為、充電終了後はコンセントを取り外してください。
火災やバッテリーが劣化するおそれがあります。



充電中は操作ができない仕様となっております。

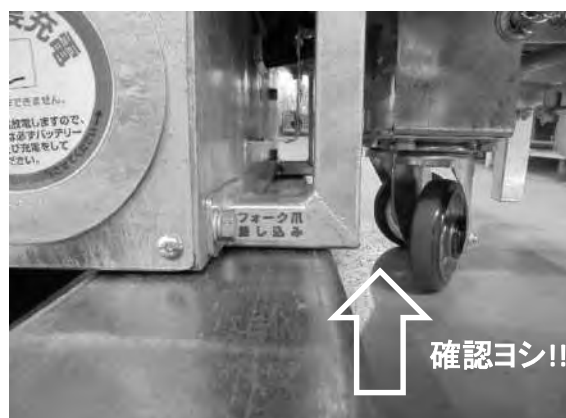
5. 持ち上げ(吊り上げ)方法


移動式昇降足場『のぼる君VEGA ASK-36 ASK-46』フォークリフト使用の場合の持ち上げ方法


 ※移動式昇降足場『のぼる君VEGA』はできるだけフォークリフト本体に近づけて載せてください。



フォーク爪の幅を「フォーク爪差し込み」ラベルに合わせてください






 フォークに本体が完全に載るのを確認の上、上昇させてください

 フォーク爪を差し込むときは、キャスターに当てないように注意してください



極力フォークを深く差し込んでください。

移動式昇降足場『のぼる君VEGA ASK-36 ASK-46』クレーン使用の場合の吊り上げ方法

	 <p>適正なスリングを使用してください。</p>
	<p>吊り板(4ヶ所)あり。 4点吊りしてください。</p>

※トラック荷台で作業台を荷締めする場合は、手すりにロープを掛けると変形の原因となりますので、巾木に掛けてください。

6. 作業台の設置にあたって

(1) 運搬・荷降ろし

⚠ 危険	
運搬時は、落下・移動すると危険ですので、固定してください。	!
本製品を傾斜地で積み降ろししないでください。	⊘
⚠ 警告	
荷降ろしの際は仕様欄、カタログ等により機械の重量を確認し、適正な方法をお願いします。	!
吊り上げる際には、別写真(前頁)の通り行ってください。(フォークリフトの場合も同様)	!
パワーゲート車の車種によってゲート部にアウトリガーが干渉する場合がございます。	!

(2) 設置場所

⚠ 注意	
周囲温度が-10℃~40℃でなるべく風通しの良いほこりや湿気の少ない所に設置してください。	⊘
腐食性・引火性・爆発性の液体やガスのある場所でのご使用は、避けてください。また、屋外でのご使用・保管の際には、雨等がかからないよう、配慮してください。	⊘
作業中、作業関係者以外の者が立ち入る危害を防止するため、柵、囲いまたは標識等により立ち入り禁止区域を明示してください。	!
作業に必要な照度を確保してください。	!
複数の高所作業台を併置し、その上に足場板等を掛渡して使用しないでください。	⊘
アウトリガーを必ず地面に設置させた状態でご使用ください。	⊘

7. 使用上の注意

本機を末永くご使用頂くため、次の事項を厳守してください。

⚠ 危険	
地盤が堅固で傾斜のない場所かつ、凹凸の無い平らな場所に設置の上ご使用ください。	!
配電線(電源コード)のあるところには設置しないでください。火災や感電のおそれがあります。	⊘
荷重は最大積載荷重以内のこと 最大積載荷重以上の荷重は、機械の損傷等、重大な事故を起こす原因となります。 最大積載荷重を超えないことを厳守してください。	!
片荷・偏荷重・集中荷重・はみ出し荷重はしないこと。 テーブルの端部のみの荷重や、一点のみの荷重・テーブルからはみ出した荷重・安定性のない品物は荷崩れ・落下・他の設備との干渉の原因となります。	!
機械の内部に物を入れないこと 機械内に物を入れると、リフトテーブル昇降中の思わぬ事故につながります。木くず・鉄くず・その他異物が機械内に入ったり触れたりしない様、十分に注意してください。	!

⚠ 警告	
電装部分は水で濡らさないようにしてください。	⊘
本体を倒さないでください。	⊘
引火性物質(シンナー・ガソリン・灯油・塗料)の保管場所、またはそれが気化し、滞留している場所では使用しないでください。	⊘
運転中は関係者以外の方が近寄らないこと(周囲に人がいないことを確認) 関係者以外の方が誤った運転操作をすると、思わぬ事故を起こすことがあります。 本機の定められた担当者が操作権をもち、よく合図して、安全運転をしてください。	!

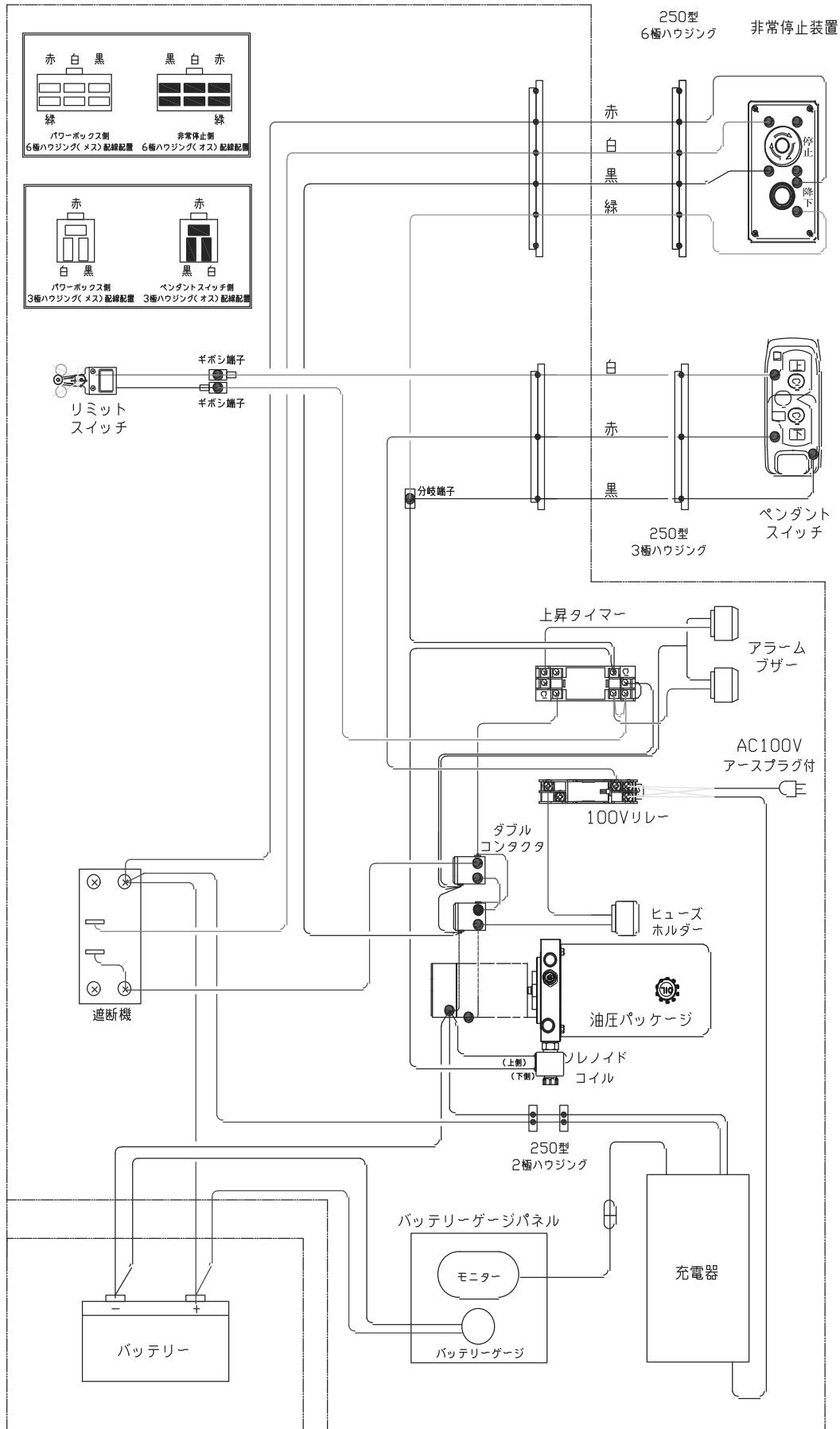
⚠ 注意	
非常停止スイッチの連続使用の禁止 非常停止が押されている状態で、遮断機のON・OFFを繰り返しますと故障の原因となります。 また、非常停止スイッチで遮断器をOFFにした際は30秒ほど時間を空けてONにしてください。	⊘
作業者を乗せたまま移動しないでください。	⊘
・作業床を最低の高さにして移動してください。 ・移動前に床面の凸凹、障害物等を確認してください。	!
連続使用は故障の原因となります。	⊘

⚠ 注意	
充電完了後は速やかにコンセントを取外してください。	
充電中は操作が出来ない仕様となっています。	

8. 試運転

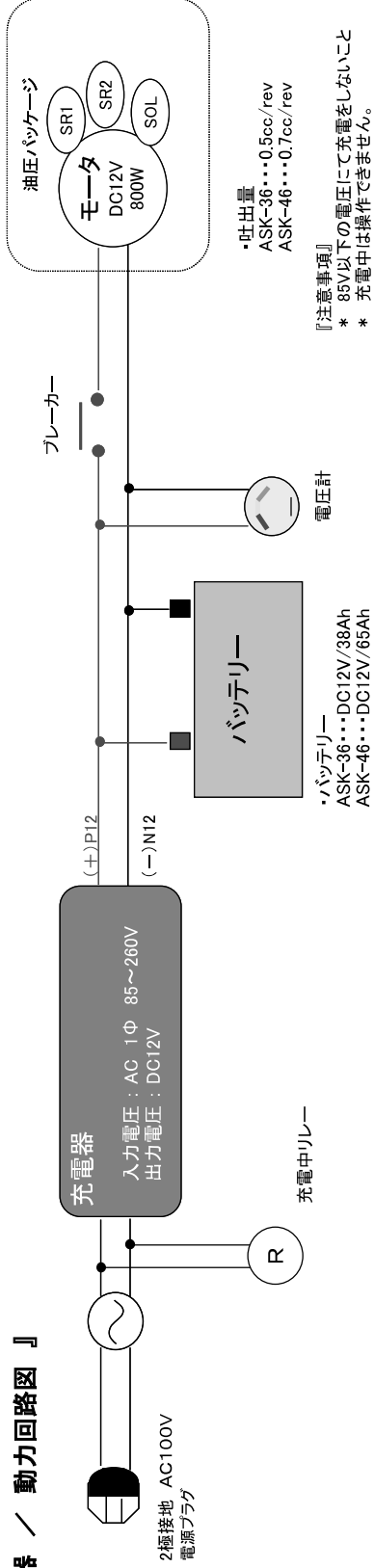
・始業前点検記録表に基づく点検実施後、非常停止が解除されていることを確認し、遮断器をONにして、操作ペダントの上昇、下降の動作確認をしてください。

9. 操作電気配線図(のぼる君VEGA ASK-36,ASK-46共通)

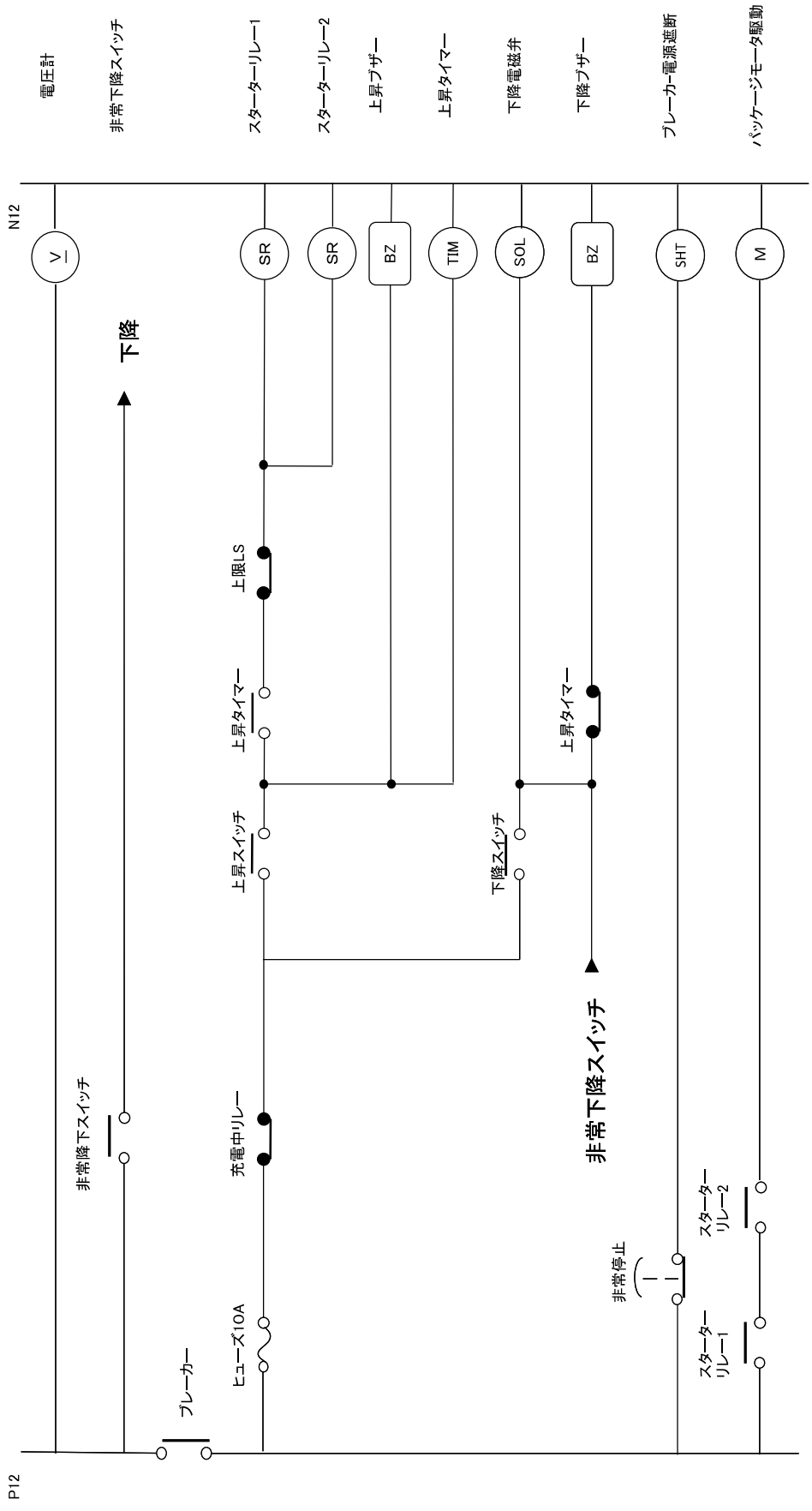


10.《 電気回路図 》

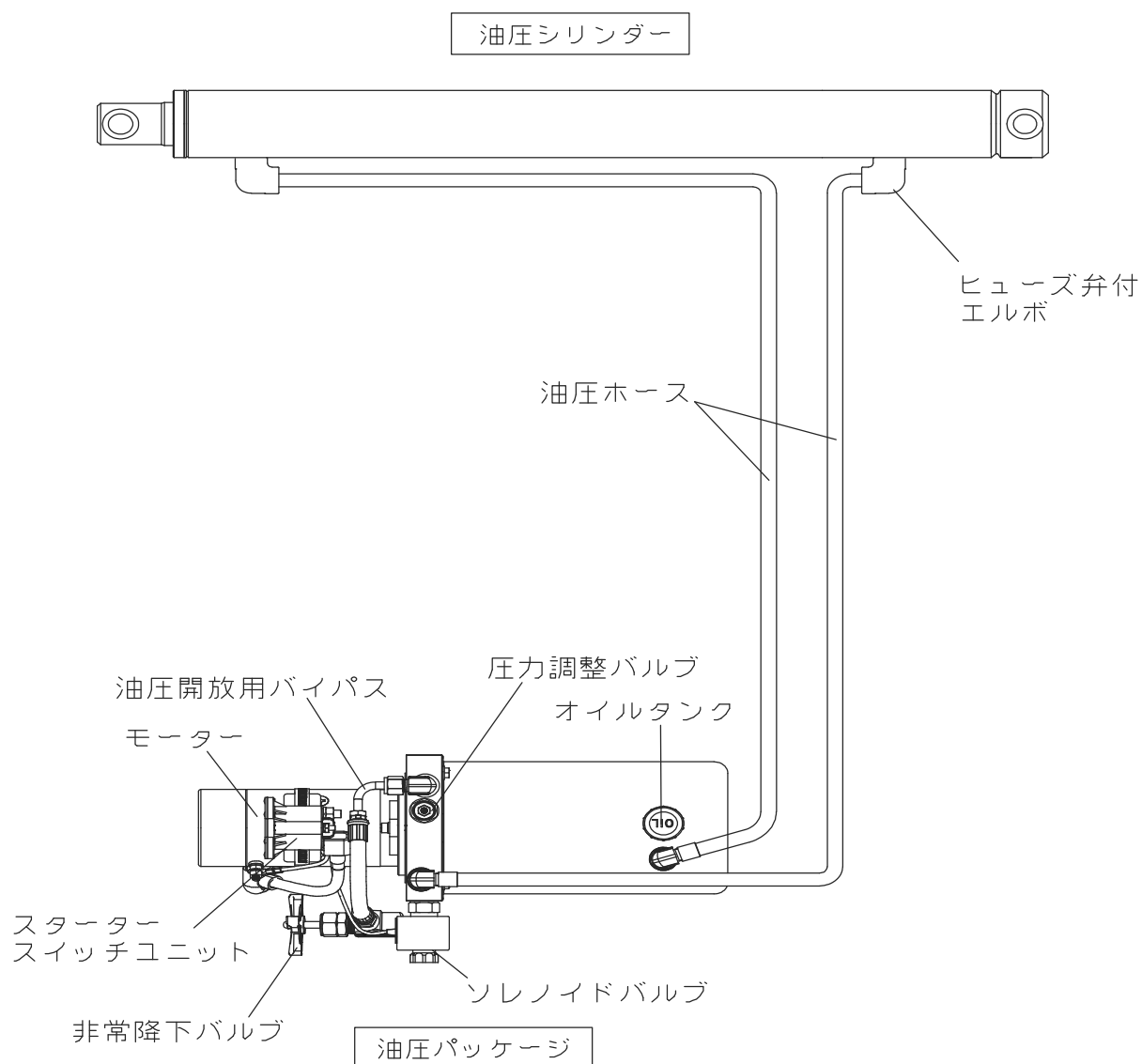
『 充電器 / 動力回路図 』



『 電気回路図 』



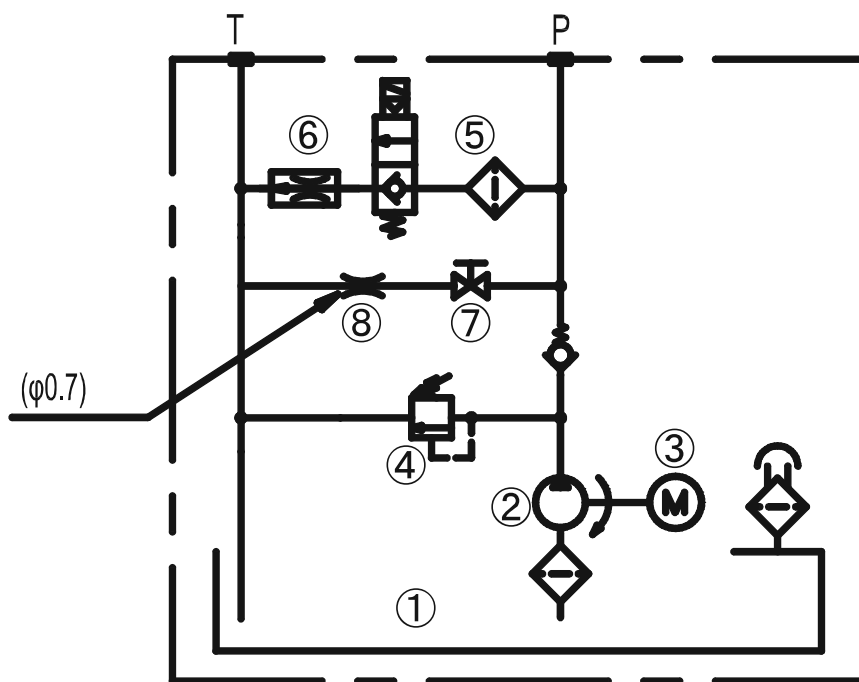
11. 油圧配管図



過荷重等によりヒューズ弁が作動し、安全確保の為ペンダントスイッチによる作業床の昇降操作が出来なくなる場合があります。

《油圧回路図》

	ASK-36	ASK-46
① 油タンク	1.9ℓ	3.0ℓ
② ポンプ	0.5cc/rev	0.7cc/rev
③ モーター	DC12V 800W	DC12V 800W
④ リリーフ弁	180kg/cm ²	180kg/cm ²
⑤ ソレノイドバルブ	12V	12V
⑥ フロートコントロールバルブ	2ℓ/min	3ℓ/min
⑦ ニードルバルブ(非常降下弁)	有り	有り
⑧ オリフィス	φ0.7	φ0.7



12. 保守・点検

油圧装置における日常点検・定期点検は一般産業機械と同様、必ず励行してください。
特に、運転前の安全確認を怠りますと、思わぬ事故を引き起こす原因となります。

- (a) 始業前点検 始業前点検記録表に基づく(別表)
- (イ) 各部品に亀裂、破損及びボルト類に緩みがないか。
 - (ロ) 各ピン(アーム及び油圧シリンダーの取付ピン)から異音が発生していないか。
 - (ハ) 油タンクの油量は適正か。
 - (ニ) 油圧機器やホース及び配管から油漏れしていないか、また損傷がないか。
 - (ホ) 電気配線に異常はないか。
- (b) 定期点検 定期検査表に基づく(弊社HPに掲載)
- (イ) 作業台の上昇・下降動作に異常はないか。
 - (ロ) 異常音(本体・機械・ポンプ・リリースバルブ等)はないか。
 - (ハ) 油漏れはないか。
- (c) 運転終了後
- (イ) 前述の(a)運転開始前の項目を再確認してください。
 - (ロ) 翌日作業の為に充電器のコンセントをAC100V電源に接続し、バッテリーを充電してください。
 - (ハ) 長期保管の際は、2週間程度の間隔で充電を行ってください。
(保管の際、遮断器をOFFにした状態で保管しますと、バッテリーの消耗を抑えられます。)

注 意

充電完了後は速やかにコンセントを取外してください。



危 険

日常点検により、万一異常が発見された場合は、運転中であれば直ちに運転を停止し、原因を調査の上適切な処置を施し、運転を開始してください。

整備をする時には、作業台を上昇させ機械内での整備作業等の場合には、必ず下降防止措置を実施してください。

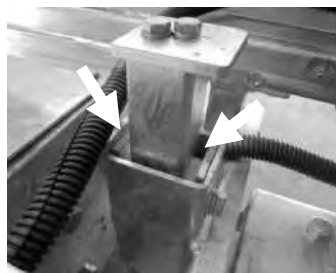


<キャスターガイド部分のグリスアップ> ※16.各部名称及びグリスアップ点検参照

使用頻度にもよりますが、定期的にキャスターガイド部分(矢印部)へのグリスアップをお願いします。



固定キャスター



自在キャスター

危 険

キャスターやブレーキパッドには注油しないでください。
ブレーキが正常に作動しないおそれがあります。



13. トラブルシューティング

(a) 上昇しない		
現象	原因	確認内容
モーターが起動しない	バッテリーの劣化	電圧計を確認し充電する又は交換
	遮断器がOFFになっている	非常停止が押されていないことを確認 遮断器をONにする
	遮断器の故障	遮断器の交換
	操作スイッチの故障	操作スイッチの交換
	接続電線の断線及び固定のゆるみ	配線又はコネクタを調べる
	モーターの故障	油圧ユニットの交換
モーターは動いているが上がらない	積荷が重すぎる	規定の重量以下の荷重とする
昇降スイッチを押してもカチカチ音はするが上がらない	バッテリー電圧の低下	電圧計を確認し充電又はバッテリー交換
	モーターの故障	油圧ユニットの交換
充電中ランプがついていて上昇しない	コンセントにつながっている	充電中は操作出来ない為、コンセントを抜く

(b) 上昇するが...		
現象	原因	確認内容
断続的に上昇する	エアの混入	5~6回昇降させ最下限でしばらく 下降ボタンを押したままにしておく
	油圧ホースの折れ込み	油圧ホースのねじれを整える
	タイマーの接点不良	ねじ端子にゆるみがないか確認する
	バッテリーの充電不良	バッテリーを充電する
上限まで上昇しない	油圧作動油の不足	油圧作動油の補充
	バッテリーの充電不良	バッテリーを充電する
停止しても自然に下降する	ソレノイドバルブへの異物混入	分解掃除、又はバルブの交換をする
	チェック弁への異物混入	修理
	非常降下バルブが開いている	非常降下バルブを閉める
軸受部から音がでる	軸受部の油切れ	グリスの給脂
途中で止まる	配線コネクタ一部の接触不良	修理

(c) 上昇したが下降しない		
現象	原因	確認内容
ソレノイドコイルが作動しない (カチッという切り替わり音)	接続の断線	配線を調べる
	操作スイッチの接触不良	操作スイッチの交換
	ソレノイドコイルの焼損	ソレノイドコイルの交換
ソレノイドコイルは作動するが下降しない (カチッという切り替わり音)	電磁弁の故障	電磁弁の交換
	ソレノイドバルブ内部に異物混入	ソレノイドバルブの交換
	シリンダー内のヒューズ弁が作動	上昇スイッチで上昇し、再度下降スイッチで 下降させるとヒューズ弁が解除される 再度行ってもヒューズ弁が解除しない場合は 積載荷重オーバーの為、荷を降ろす
	機械内への障害物かみこみ	障害物を取り除く
音がしなく下降しない	接続線の接触が悪い	コネクタ一部を再点検し、配線の損傷を 調べる
	遮断器がOFFになっている	非常停止ボックスの下降スイッチを押して 降下する

(d) 充電器		
現象	原因	確認内容
電圧計の針が、左側に傾いている	電圧計配線の断線	修理
	バッテリーの劣化	バッテリー充電、又は交換
充電中に表示パネルが電源ランプ (赤)のみ点灯している	充電器のヒューズ切れ又は接触不良	充電器ヒューズの交換
	バッテリーの劣化	電圧計の針が左端まで倒れている場合は バッテリー交換をする
	充電器ケーブルコネクタが外れている	コネクタを付け直す
	充電器の故障	充電器の交換
充電時にコンセントプラグをコンセント に差し込んだが表示パネルのラン プが点灯しない	内部リレー端子緩み	コンセントから外した後で、内部リレーの ねじ端子を締め直す
	コンセント側電源が落ちている	コンセント側電源を入れて再充電
	充電器本体の故障	充電器の交換
	表示パネルの故障	
充電後に表示パネルのランプが全 部点灯しているが充電されない	バッテリーの劣化	バッテリー交換
	充電器ヒューズの接触不良	充電器ヒューズ交換
	充電器ケーブルコネクタが外れている	コネクタを付け直す

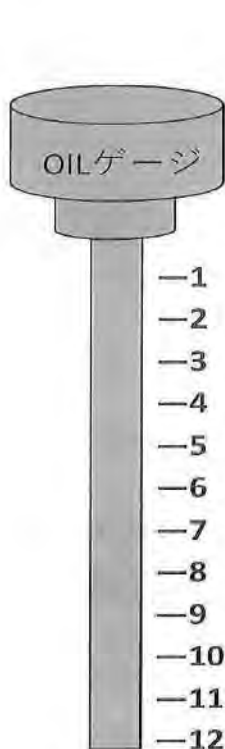
現象	原因	処置
ブレーキをONにした際に本製品が 移動する	タイヤやブレーキパッドの汚れ	汚れを水などできれいに除去してください
	ブレーキパッドのすり減り等	左右のブレーキを調整してください

(d) 油圧作動油

油圧作動油は ISOVG#32(テラスオイル#32相当品)をご使用ください。

(e) 定期要領

点検は、次表に従って行ってください。



◆油量適量目安
シリンダーストローク36cm(半分)
の場合1700cc前後

46用	
3N12H24S07XB3DBCPD2	
ゲージ目盛	c.c.
1	3080
2	2860
3	2610
4	2350
5	2070
6	1810
★6.5	1670
7	1530
8	1250
9	970
10	700
11	440
12	210

◆油量適量目安
シリンダーストローク29cm(半分)
の場合1260cc前後

36用	
3N12H16S05XB2DBDQU2	
ゲージ目盛	c.c.
1	1980
2	1840
3	1680
4	1520
5	1360
★5.5	1270
6	1180
7	1000
8	820
9	640
10	470
11	290
12	140

点検要領表						
	点検項目	点検方法	処置	点検周期		
				日	毎 月	毎 十二 ヶ月
1	各部品の亀裂、破損	目視	部品の交換	○		
2	ボルトの緩み	目視 ◎工具等による	緩んでいれば増し締め	○	◎	
3	軸受部	作動状況により点検 (異音)	グリス給脂	○		
4	油圧機器・配管等の油 漏れ	定期給脂	グリス給脂		○	
		目視	油漏れの無いこと	○		
5	オイルタンクの油量	聴覚(異音)、油量	油圧作動油補充		○	

注) 部品交換及び修理は、人身事故及び機械の損傷につながるものもありますので、要領については、弊社又はお求めになった販売店までご連絡ください。

14. オプション品

本製品には、下記のオプション品をご用意しております。必要に応じてお問い合わせください。

<さや管入れ>約2kg

φ48.6mmの単管等を差し込み、蝶ボルトで固定することにより上昇時の頭部保護が出来ます。必ず身長と同等の長さにしてください。



ブラケットへの止め方

<工具棚>約2.8kg

棚を取り付けることにより、工具等が収納出来ます。



ブラケットへの止め方

<看板>約1.5kg

自由掲示が可能な看板が設置出来ます。



手すりへの止め方

<取扱説明書ボックス>約0.4kg

取扱説明書を収納し、必要なときに見ることが出来ます。



ブラケットへの止め方

<オプション取付用ブラケット>約0.6kg

オプション用ブラケットは手すり上部に引っ掛け、ブラケット下部を付属のバンド・ボルト・ナット2本で止め金具と共に取り付けてください。




止め金具

オプションフルセット質量

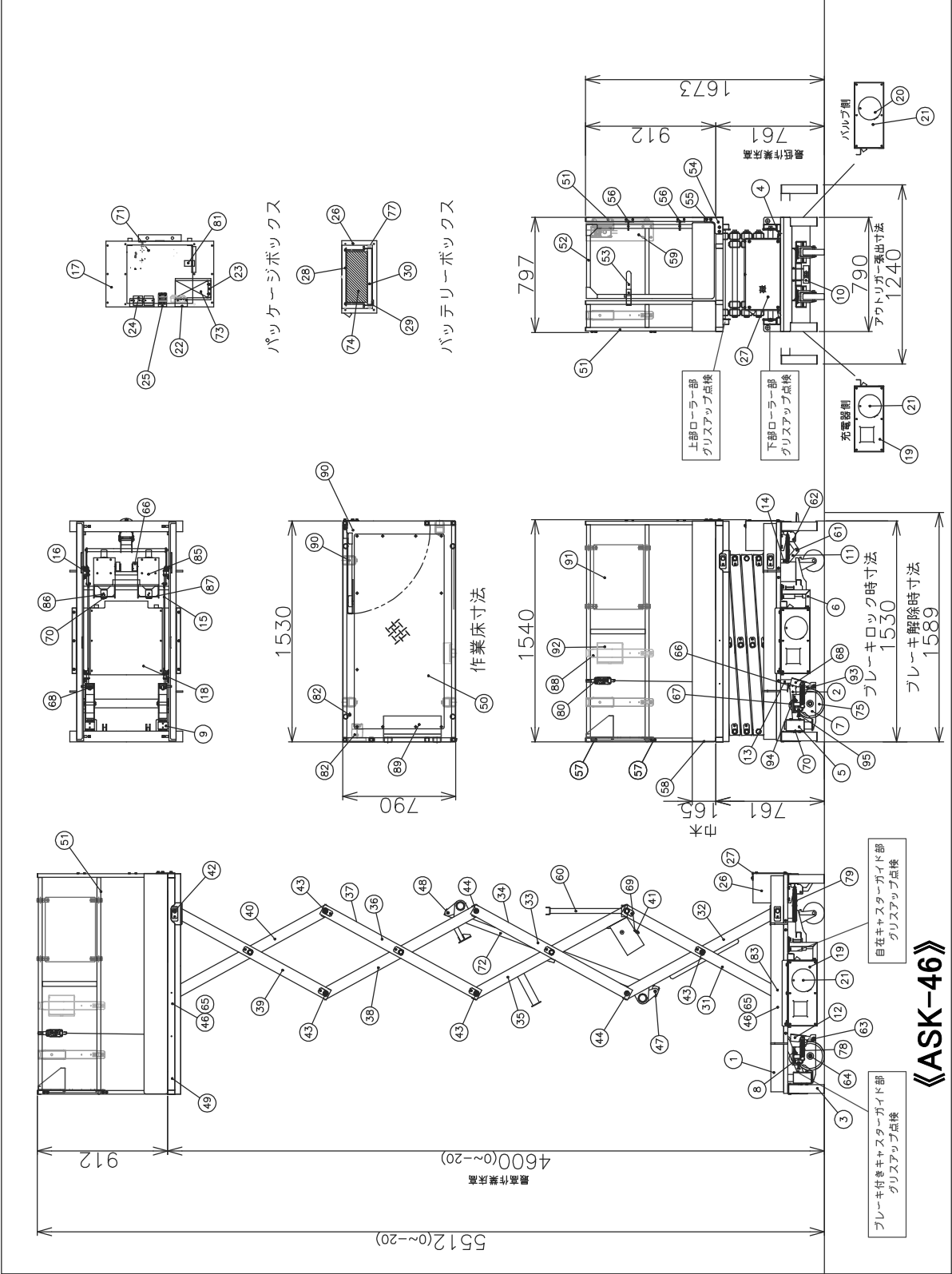
	質量約(kg)	セット数	セット質量約(kg)	質量合計
看板	1.5	1	1.5	16.8kg
工具棚セット	4	1	4	
さや管セット	2.6	4	10.4	
取説ケースセット	0.9	1	0.9	

※セットにはブラケットが含まれます

15. 充電器の交換方法(①から⑧の作業終了後、新しい充電器と交換し、逆の手順で取り付けてください。
 ※交換する充電器は必ず、「4.充電器の仕様」に記載されている品番の「コネクタ付」をお買い求めください。

<p>①ボックス側面のフタを固定しているビス6ヶ所を取り外してください(丸部)。</p>		<p>⑤コネクターが外れた状態。</p>	
<p>②充電器を固定しているボルト・ナット2ヶ所を取り外してください(矢印部・スパナ径13mm)。</p>		<p>⑥充電器と電圧パネル間の黒い配線を外してください。接続部はピンルテープと結束バンドで固定されていますので、結束バンドを切断してからテープを外してください。</p>	
<p>③充電器に接続されている充電器コードを抜いてください(丸部)。</p>		<p>⑦黒い配線を外した状態。</p>	
<p>④充電器と遮断器・モーター間の配線部のコネクタを外してください(丸部)。</p>		<p>⑧充電器に取り付けられている固定金具のビス4ヶ所を緩めて、溝の中に入っている角ナットと一緒に引き抜いてください(矢印部)。</p>	

番号	名称	数量
1	フレーム	1
2	フレーム	1
3	フレーム	1
4	フレーム	1
5	フレーム	1
6	フレーム	1
7	フレーム	1
8	フレーム	1
9	フレーム	1
10	フレーム	1
11	フレーム	1
12	フレーム	1
13	フレーム	1
14	フレーム	1
15	フレーム	1
16	フレーム	1
17	フレーム	1
18	フレーム	1
19	フレーム	1
20	フレーム	1
21	フレーム	1
22	フレーム	1
23	フレーム	1
24	フレーム	1
25	フレーム	1
26	フレーム	1
27	フレーム	1
28	フレーム	1
29	フレーム	1
30	フレーム	1
31	フレーム	1
32	フレーム	1
33	フレーム	1
34	フレーム	1
35	フレーム	1
36	フレーム	1
37	フレーム	1
38	フレーム	1
39	フレーム	1
40	フレーム	1
41	フレーム	1
42	フレーム	1
43	フレーム	1
44	フレーム	1
45	フレーム	1
46	フレーム	1
47	フレーム	1
48	フレーム	1
49	フレーム	1
50	フレーム	1
51	フレーム	1
52	フレーム	1
53	フレーム	1
54	フレーム	1
55	フレーム	1
56	フレーム	1
57	フレーム	1
58	フレーム	1
59	フレーム	1
60	フレーム	1
61	フレーム	1
62	フレーム	1
63	フレーム	1
64	フレーム	1
65	フレーム	1
66	フレーム	1
67	フレーム	1
68	フレーム	1
69	フレーム	1
70	フレーム	1
71	フレーム	1
72	フレーム	1
73	フレーム	1
74	フレーム	1
75	フレーム	1
76	フレーム	1
77	フレーム	1
78	フレーム	1
79	フレーム	1
80	フレーム	1
81	フレーム	1
82	フレーム	1
83	フレーム	1
84	フレーム	1
85	フレーム	1
86	フレーム	1
87	フレーム	1
88	フレーム	1
89	フレーム	1
90	フレーム	1
91	フレーム	1
92	フレーム	1
93	フレーム	1
94	フレーム	1
95	フレーム	1



《ASK-46》

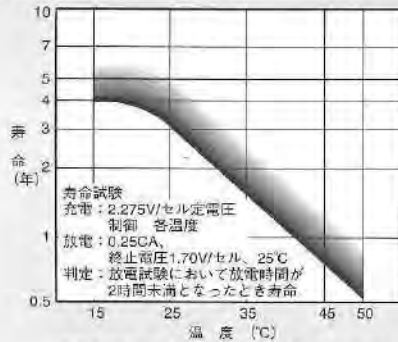
18. 参考資料(バッテリー)

間違った使用は、重大な災害を引き起こす危険があります。

資料検索 IPS/TS-009

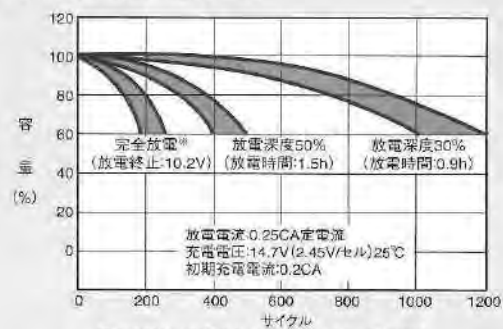
一般 電池工業会
社団法人

●トリクル寿命特性の一例



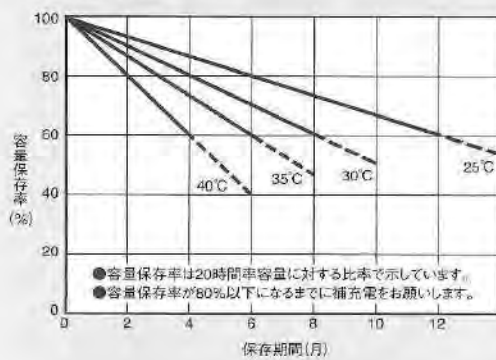
●寿命特性は放電条件、充電条件によって変わります。

●サイクル寿命特性の一例



●寿命特性は放電条件、充電条件によって変わります。
※：所定の終止電圧(1.7V/セル)まで放電すること

●容量保存特性の一例



補充電を必要とする目安

保存温度	25℃以下	30℃	35℃	40℃
期間	6ヶ月毎	4ヶ月毎	3ヶ月毎	2ヶ月毎

上記以上の長期放置では容量が回復しない場合があり、性能を十分に発揮できなくなります。
保存期限は12ヶ月を上限としてください

【交換時期の目安】

部品名及び型式		目安年数
充電器		3年
バッテリー		2年
油圧シリンダー		8年
高圧油圧ホース		4年
パワーパッケージ		7年
キャスト		5年
ペンダントスイッチセット 一式		5年
ブレーキ	バネA	2年
	バネB	2年
	ブレーキパッド	2年

※1

通常使用のお客様も前後を参考にご使用下さい

※1, 配線も含め交換をお勧めいたします

※上記はその年数を保証するものではなく、交換時期の参考目安です

- ・保証について 商品を安くご提供するために、価格には保守料金を含んでおりません。故障などによる保証等に関しては以下をご確認ください。

保証期間

納入日より

1年間

但し、弊社購入品（油圧シリンダー、油圧ポンプ+モーター）は保証期間中のトラブルに關しまして部品の発送のみとなり、お客様にて部品の交換をお願い致します。部品交換を弊社にて行う場合は、工賃、交通費等を別途申し受けます。取り換え作業中の事故の発生には、弊社は一切責任を持ちません。取替方法などわからない場合は販売店又は弊社までご連絡いただき、弊社の指導に基づき、作業を行ってください。充電器・バッテリーにつきましては消耗品の為、保証対象外となります。

移動式昇降足場『のぼる君VEGA ASK-36 ASK-46』保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。納品書とともに保管ください。

お名前	
ご住所	
電話番号	
納品日	
販売店	
保証期間	納品日より 1年間
保証除外品	バッテリー、充電器 但し、上記部品は発送のみとなりますのでお客様にてお取替え下さい。 お取替え後の上記部品はトラブル原因調査のため弊社へ必ずご返送下さい。

無 料 修 理 規 定

- ・取扱説明書に従って正常な状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
- ・保証期間内でも、次の場合には有料となります。
 - ・保証書のご提示がない場合。
 - ・使用上の誤り、不当な修理及び、修理や改造による故障や、破損した場合。
 - ・お買い上げ後に落とされた場合などによる故障や損傷した場合。
 - ・火災、公害および地震、風水害その他天災地変など、外部要因により故障や、破損した場合。
 - ・消耗品およびこれに準ずる部品が消耗し、取り替えを要する場合。
 - ・この保証書は日本国内においてのみ有効です。

型 式 名

製造番号 No.

製造元



〒956-0802
新潟県新潟市江秋葉区七日町1050-1
TEL(0250)47-8711 : FAX(0250)47-8718

追加項目

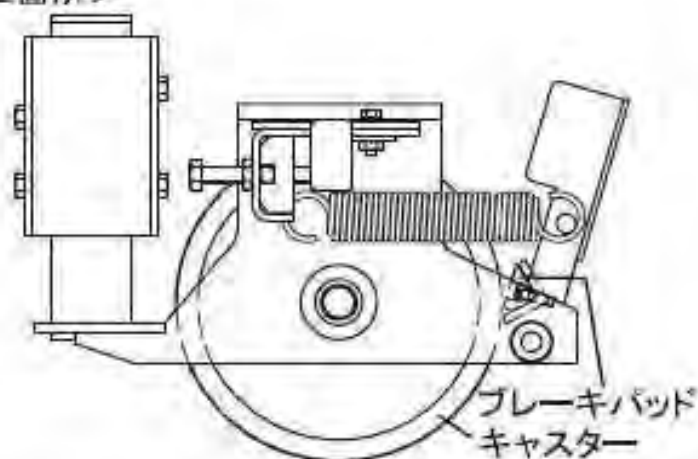
安全のために、必ず守っていただきたいこと

⚠危険

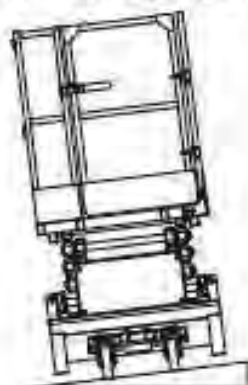


キャスターやブレーキパッドに潤滑油等の油が付着すると、
ブレーキ性能が低下するおそれがあります。
注油時にキャスターやブレーキパッドに油を塗布しないでください。

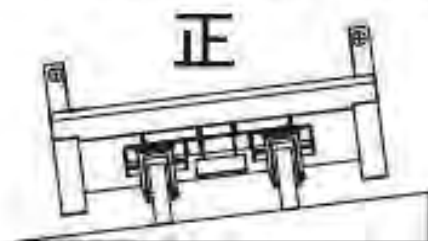
<注油禁止箇所>



1. パワーゲート車のプラットホームに載せるときは、横向きに載せてください。



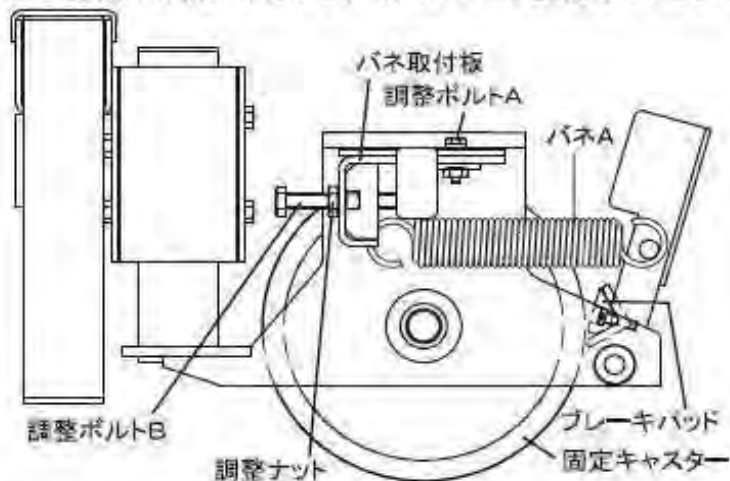
2. パワーゲート車のプラットホームに横向きに載せる際は、
ブレーキペダル側のキャスター（自在）を以下の方向にしてください。



3. ブレーキをONにして、本製品が動かないことを確認してから手を離してください。
※動く場合は、ブレーキを調整してください。

ブレーキの調整方法

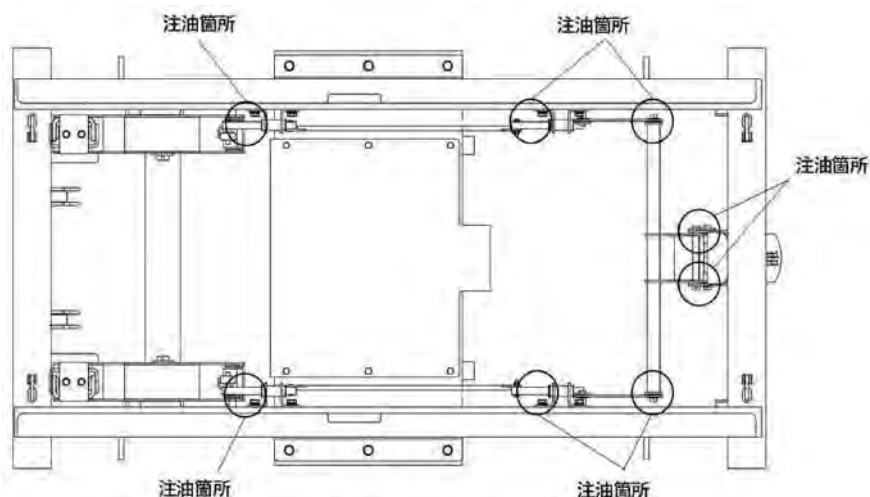
- ①ブレーキペダルをONの状態です。調整ボルトA・調整ナットをゆるめてください。
- ②ブレーキパッドを適切な位置に調整します。
調整ボルトBを締め付けると、バネ取付板が移動することでバネAが引っ張られてブレーキパッドが固定キャスターと接触します。
調整ボルトBをゆるめると、ブレーキパッドは固定キャスターから離れます。
- ③調整ボルトAと調整ナットを締め付けて固定してください。
- ④ブレーキの効き具合を確認してください。
※1. ブレーキON時に本製品が動く場合やブレーキOFF時にブレーキパッドと固定キャスターが接触する場合は上記の①～④を繰り返してください。
※2. 片方のブレーキを調整した場合は、必ずもう一方のブレーキを調整してください。



お手入れについて

1. 本製品のキャスター(自在・固定)とブレーキパッドはいつもきれいにしておいてください。
2. 汚れがいちじるしい場合は、乾いた布等できれいに拭き取り、引張軸のシャフト等に潤滑剤を吹き付けてください。

<注油箇所>





〒956-0802 新潟県新潟市秋葉区七日町1050-1
TEL: (0250)47-8711 FAX: (0250)47-8718

URL <https://www.sip-n.co.jp>

